

肝炎医療コーディネーターの概要

1 肝炎医療コーディネーターの活動内容

肝炎医療コーディネーターは、肝臓病教室等において、肝炎治療の重要性や検査結果の見方などについて説明を行ったり、患者及び家族からの日常生活上の注意事項などについて相談に応じる。

特に、肝疾患診療連携拠点病院や地区拠点病院に勤務する肝炎医療コーディネーターは、それぞれの地区内の他の医療機関においても肝臓病教室等が効果的に実施されるよう、支援するものとする。

2 肝炎医療コーディネーターになるには？

(1) 対象者

埼玉県の肝疾患診療に関する地区拠点病院や一次医療機関、薬局等に勤務する職員

(2) 方法

指定の研修を受講し、試験に合格した者に対して、修了証書（知事名）が交付される。有効期間は、研修当日から、受講した年の5年後の末日までとする。

（例）令和3年度の研修（開催日：令和3年11月28日）に受講した場合の有効期間
→ 令和3年11月28日（開催日）～令和8年12月31日

(3) 研修の概要

医師を対象に開催する「肝炎医療研修会（埼玉県）」を受講後にコーディネーター試験を実施する。（別添研修プログラムのとおり）

(4) 受講料

無料（ただし、通信料等は受講者負担）